

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福法人 筑陽会 ぱっそ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年3月6日		～ 令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32世帯	(回答者数) 30世帯
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日		～ 令和7年3月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月29日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(作業療法士と言語聴覚士)による個別療育を実施している事です。また、ご家族の方に療育の様子を見学できる設備が整っている事や振り返りの時間を確保出来ている事が強みです。更に小集団による集団療育で、気持ちの切り替えや同世代の児童同士の関わり方を集中的に学べる事も強みです。	基準より多くの職員を配置していますが、それでも専門職(作業療法士・言語聴覚士)の数が少ないので、体調不良等で職員が休むと児童の療育回数が少なくなります。その為、営業日を増やして振替療育を実施しています。	ぱっその年間営業日を年度初めに保護者に提示して、仕事の調整をしやすくします。結果、個別療育を受ける事が出来なかったお子さんが、振替療育が出来る環境を整えます。また、早い段階で個別療育に空きが出来れば、空き状況をお知らせします。
2	定期的に保護者・きょうだい児の交流イベントを実施しています。また、茶話会や保護者向けの研修等にも力を入れていきます。特に保護者向け研修に関しては、就学や就労等、今後の人生においての悩みや課題に関する事柄をテーマにしています。	イベントや研修を開催する際は、基本的には土曜日開催にする事で、お仕事をされている保護者等が参加しやすいようにしています。また、研修の際は外部から講師をよんだり先輩パパ・ママとの意見交換の場も設けています。近隣の大学(久留米大学)と合同企画をして、ぱっその児童が地域の方と交流出来るように工夫をしています。	LINEや掲示等でイベントや研修について周知していますが、アンケートの結果では、情報を知らない方もいたようなので、周知方法をLINEや掲示に加えて、口頭でもお知らせするようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が体調不良等で休む場合、療育日が祝日の場合は、個別療育の利用回数が少なくなります。	専門職(作業療法士・言語聴覚士)の数が少なく、職員の休日数確保の為、祝日は休業日にしなければいけません。単に専門職を増やせばよいというわけでもないので(人件費等の問題)、現状の体制で運営のやり方を工夫をしていく必要があります。	ぱっその年間営業日を年度初めに保護者に提示して、仕事の調整をしやすくします。結果、個別療育を受ける事が出来なかったお子さんが、振替療育が出来る環境を整えます。また、早い段階で個別療育に空きが出来れば、空き状況をお知らせします。
2			
3			